

行政（市町村）のホームページに対する一考察

横井 仁史

Homepages of Local Government in Japan

Hitoshi Yokoi

Summary

In this paper, the author considers the purpose and function of homepages for local government in Japan. Homepages are interactive media, so these local government homepages can change the relations between local residents and local government.

Therefore, discussing the effectiveness of the homepages of local governments is important.

Received Oct. 31, 2001

Key words : homepage, local government

はじめに

行政のホームページには、直接、地域住民の家庭に情報を送ることが可能であり、また、直接地域住民から意見を聞くことができるなど、従来から行われていた「行政の広報を文書で配布」とは異なる情報伝達（即時性、対話型など）の形態が生まれつつあり、その重要性は今後更に増えることになると思われる。実際に、岐阜県の市町村のホームページを調査したところ、平成13年9月10日時点で99市町村のうち、98市町村がホームページを立ち上げている。しかし、個々のホームページは、目的・情報の内容・言葉使いも様々であり、体系的に検討することが必要な時期に来ていると考えられる。

そこで、行政の現在におけるホームページの実態（内容）を調査し、現在および将来に対する行政（市町村）のホームページのあり方に対する考察を加えることは有意義ではないかと考える。

1. 岐阜県における行政（市町村）ホームページの現状（2001年9月20日現在）

岐阜県には2001年9月20日現在99市・町・村があり、98市町村がホームページをたち上げており、以下のような情報を発信している。

横井仁史

図1は海津町のホームページであり、観光客を対象にしたホームページ作りを行なっている代表的な例である。町のプロフィール、町の歴史、観光情報を中心としたホームページ作りとなっており、見やすくきれいなホームページとなっている。

図2は岐阜市のホームページであり、市政・暮らしの便利帳・生涯学習・最近の話題など地域住民の生活を対象としてホームページ作りがなされている。



図1. 海津町のホームページ

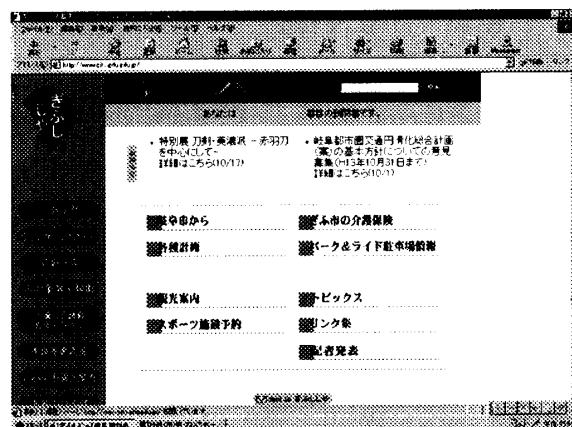


図2. 岐阜市のホームページ

以下の表1は、岐阜県の主な20市町村のホームページ情報を分類し、掲示した。

表1 岐阜県（市、町、村）ホームページ情報調査（2001年9月20日現在）
市町村99件の中で98件がホームページを立ち上げており、代表的な20市町村を選択した。

市町村名	全体情報		観光客情報		地域住民情報						掲示板	
	プロフィール	観光情報		行政からの情報			くらしに役立つ情報			くらしの教育・学習		
		観光情報	特産品	広報	議会案内	市統計情報	福祉情報	防災対策	教育情報	介護情報	図書館	生涯学習
恵那市	1	1	1	1		1	1		1	1	1	
大垣市	1	1		1				1	1	1	1	1
岐阜市	1	1		1	1	1	1	1	1		1	1
明智町	1	1										
安八町	1	1	1	1	1		1	1				
池田町	1	1	1	1			1		1		1	
糸貫町	1	1	1			1						
揖斐川町	1	1	1	1								
海津町	1	1										
大野町	1	1	1	1								
各務原町	1	1		1	1	1	1		1	1	1	
笠原町	1	1		1	1	1		1				1
笠松町	1	1	1				1					
小坂町	1	1	1									1
旭村	1	1										
板取村	1	1	1	1		1			1			
伊自良村	1	1	1	1								
岩村	1	1	1	1		1	1				1	
加子母村	1	1		1								
春日村	1	1	1									

なお、上記表は1が情報を含む、空白は含まない。

行政（市町村）のホームページに対する一考察

この表を見ると、主に地域住民の生活を対象としたホームページを作成している市町村と主に観光客を対象にしたホームページを作成している市町村とに大きく分かれる傾向がある。

岐阜市・大垣市など市では主に住民生活中心のホームページ作り、旭村・海津町など町・村は観光客を対象としたホームページ作りがされている。

情報構造は以下のように体系化される。

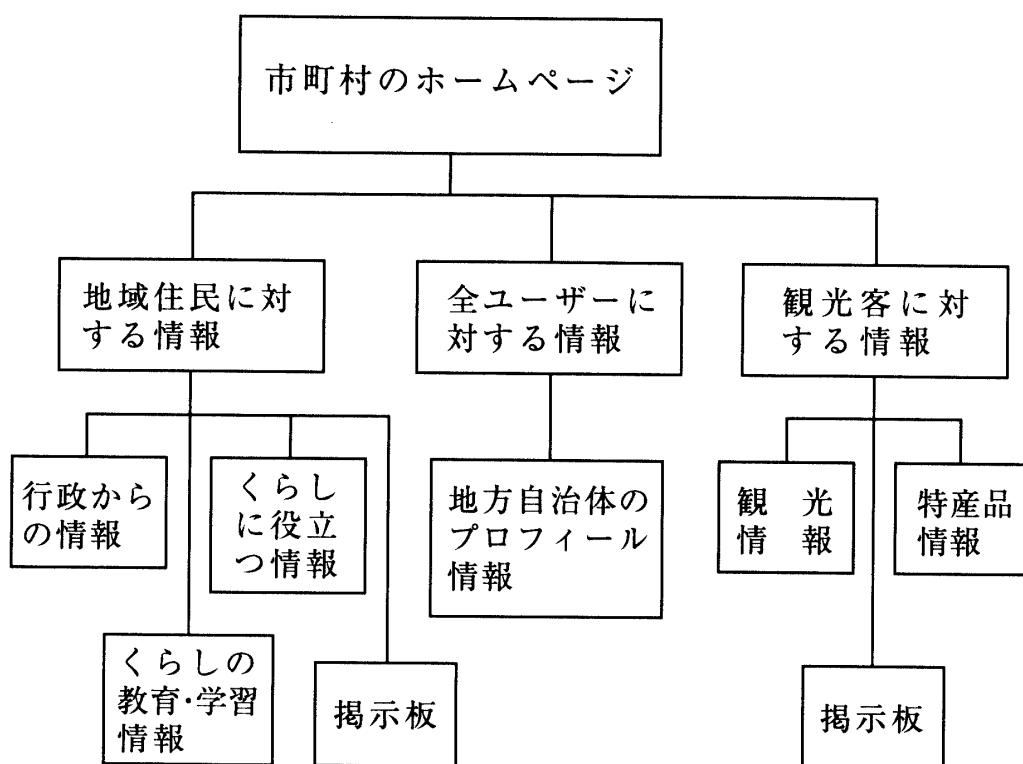


図3．市町村のホームページの情報構造

2. ホームページの目的および機能

ここでは一般的ホームページの目的・機能を考えることにより、市町村ホームページの目的・機能について考察する。

2. 1 一般的なホームページの目的および機能

ホームページの目的（作成者側）には、①ユーザーの利便性を向上する ②ユーザーの参加意識を高める ③ユーザーへの宣伝が考えられる。

また、ホームページの機能にはユーザーにとり、必要な情報が、安価で必要なタイミングに情報が得られる。とともにユーザーから疑問・意見などを簡単に発

進できるという機能を簡単に持つことができる。

作成者は安価に情報を発信（宣伝など）でき、簡単に情報の修正・変更を行うことができる。

図4は一般的なホームページの目的・機能を図示した。

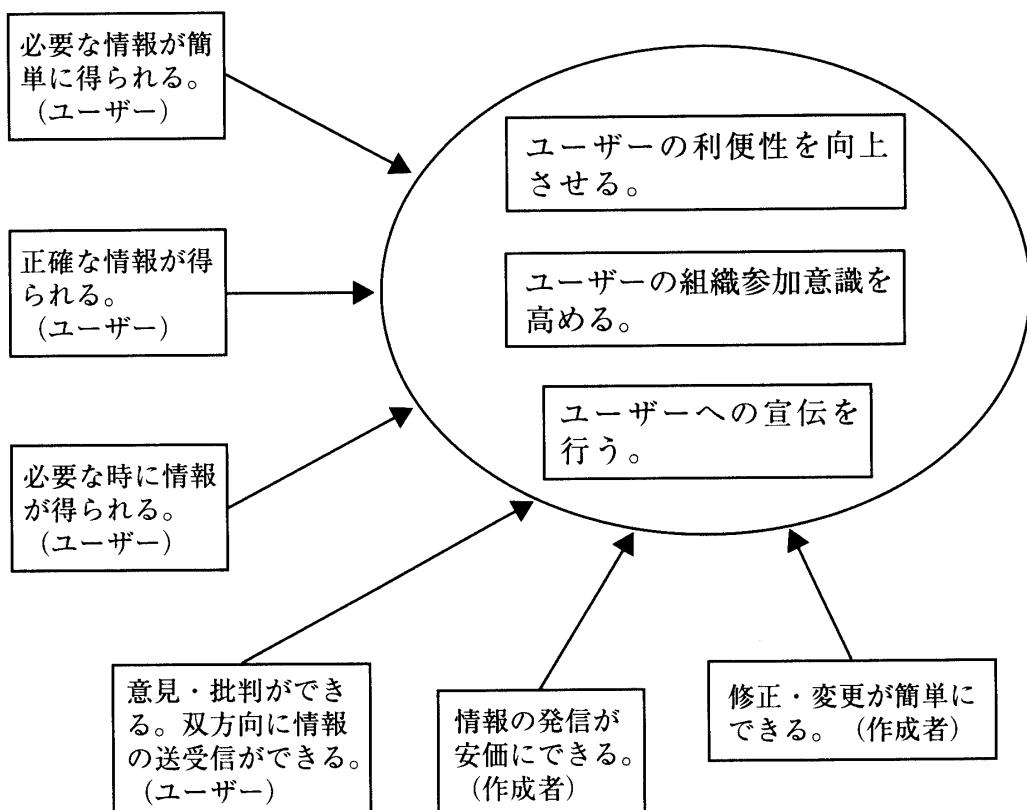


図4. 作成者側の一般的ホームページの目的および
ホームページの機能（ユーザー・作成者）

2. 2 ホームページの特徴（一般的）

ホームページはコンピュータ画面に表示されることを考えると、ユーザーにより、見やすく・操作が簡単で、デザインがきれいで、分かりやすいことが必要である。また、ホームページ対象ユーザーも、ある程度絞り込まれている必要がある。

2. 3 行政（市町村）のホームページの情報の目的と機能についての考察

上記で一般的なホームページの目的・機能について考察したが、市町村の

行政（市町村）のホームページに対する一考察

ホームページの目的・機能も一般的なホームページの目的・機能と同様に考えてよいのではないか。地域住民か観光客に対し、利便性の向上、参加意識を向上させ、見やすく、分かりやすく、画面がきれいな（デザインがきれい）ホームページ作りを行なわねばならない。

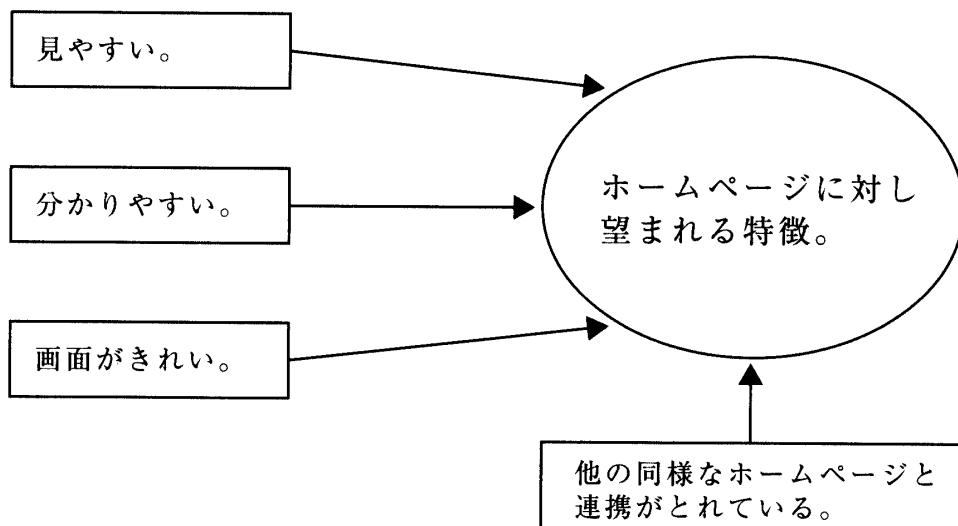


図5. ホームページに対し望まれる特徴

3. 市町村ホームページの現在の問題点

3. 1 近隣する他市町村のホームページとの連携がとれていない点がみられる。

揖斐川町・谷汲村など近隣地区にも関わらず項目名・全体のレイアウトなど全く異なり、地域全体の検討も今後は必要であり、隣接する市町村相互に関連する項目、内容について議論し、連携をとる必要がある。

3. 2 ホームページの形式が様々であり、特に市町村が非営利団体であることもあります、評価が難しく、どのようなホームページ作るかは担当者の判断に任せられる傾向がある。

4. 行政（市町村）のホームページに対する提案

4. 1 市町村ホームページ間の連携の強化

近隣の市町村の担当者が時々会議を開催し、意見交換（ホームページの内容・画面の動き・運用など）を行なう必要がある。

横井仁史

4. 2 市町村ホームページ検討委員会の設置

市町村は非営利団体であり、評価を行なうのは地域住民であり、全員で評価することが望ましいことではあると考えられるが現実的ではなく、やはり地域住民も含めたホームページ検討委員会設置が必要であると考える。

市町村の行政担当者だけではなく、地域住民と一体となって作るということが重要である。

4. 3 掲示板を充実させる。

2001年9月現在、掲示板を載せているホームページは20ホームページの中で2ホームページと少ない。住民の意見を聞き、その内容を表示し、行政の担当者が返答する。その一連の流れをホームページに掲載することは、住民の行政に対する参加意識を高めることにつながる。

5. 終わりに

今後、高度情報化社会の進展に伴い、益々、市町村のホームページの重要度は増すと思われる。とにかくホームページを作る時代から、ホームページの有効利用の時代（行政・地域住民・観光客にとり）に入りつつあるのではないかと思われる。

そういう意味で、市町村ホームページに限らずホームページ全体に対し評価・改善・連携という課題が、今後さらに重要になると考えられる。

また、今後はアンケート調査による「市町村ホームページに対する地域住民の要望」などを調べたいと考えている。

謝辞

名古屋工業大学山本勝研究室のメンバーには活発な議論を行っていただき感謝します。

参考文献

- 1) 山本勝：「システムづくりの達人」シリーズ－意識改革と人間関係づくりを目指して、
公衆衛生情報、日本公衆衛生協会、1997年4月号～1999年3月号
- 2) 山本勝：「介護保険時代における保健・医療・福祉のシステムづくりと人づくり」新
企画出版社、2000年6月